

令和7年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	22038	事業名	田園環境保全事業			評価分類	A1	
	事業手法	☐ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☒ 補助等 ☐ その他()							
	施策体系	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上			予算科目	会計	01:一般会計	
		基本施策	09:自然との共生				款	06:農林水産業費	
		施策の方向	02:森林・里山・農地の保全				項	01:農林水産業費	
	重点プロジェクト	-				目	03:農業振興費		
	事業期間	H 29 年度 ~ R - 年度		主な根拠法令等	亀山市田園環境保全事業補助金交付要綱				

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	農業経営の安定化、持続的な農地保全・耕作放棄地の発生防止を図るため、継続して取り組む者を支援してきており、容易な転作、多面的機能を維持・発揮できる環境は、継続された取り組みで保たれる。	農業者・集落営農組織	景観作物を一団の面積を有する農地への作付けを支援することで、農地を保全し、持続的な田園環境の維持を促進するとともに、転作の推進、耕作放棄地の未然防止、農村景観の維持等を図る。	市内に住所を有する者又は集落営農組織を対象として、中山間地域においては30a以上、その他の地域においては100a以上の一団の農地にれんげ、コスモス、菜の花、ひまわり等の対象作物を作付した場合に補助金を交付する。

③ 事業の実施状況 (P・D)	年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
	事業計画		○田園環境保全事業補助金の交付		○田園環境保全事業補助金の交付		○田園環境保全事業補助金の交付		○田園環境保全事業補助金の交付		
	活動実績 (計画通り実施できたか)		補助申請者5者に対し、補助金を交付し、407aの作付面積(菜の花・ヒマワリ・コスモス)の実績が得られ、農村景観の向上や耕作放棄地の発生防止に繋がった。また、市フェイスブックやHP等によるPRを2回行った。		補助申請者5者(菜の花・ヒマワリ・コスモス)に対し、補助金を交付した。作付面積については、既存の取組者の面積が増えたが、前年と同じく指標には及ばない485aの作付面積であった。また、市フェイスブックやHP等によるPRを2回行った。		補助申請者4者(菜の花・ヒマワリ・コスモス)に対し、補助金を交付した。作付面積については、既存の取組者の面積が増えたが、指標の計画面積に及ばず483aの作付面積であった。また、農地の保全や田園景観の取り組みの情報発信のため市フェイスブックやLINE等を利用したPRを2回行った。		補助申請者4者(菜の花・ヒマワリ・コスモス)に対し、補助金を交付した。作付面積については、既存の取組者の面積が増えたが、指標の目標面積に及ばず449aの作付面積であった。また、農地の保全や田園景観の取り組みの情報発信のため市公式LINEを利用したPRを2回行った。		
	計画額	事業費	事業費	2,800千円	1,368千円	2,900千円	1,588千円	3,100千円	1,527千円	3,100千円	1,400千円
			国・県支出金		0千円						0千円
			地方債		0千円						0千円
			その他		0千円						0千円
			一般財源	2,800千円	1,368千円	2,900千円	1,588千円	3,100千円	1,527千円	3,100千円	1,400千円
	決算額	事業費	事業費		1,368千円		1,588千円		1,527千円		1,400千円
			国・県支出金		0千円		0千円		0千円		0千円
			地方債		0千円		0千円		0千円		0千円
			その他		0千円		0千円		0千円		0千円
			一般財源		1,368千円		1,588千円		1,527千円		1,400千円
①期間内計画額(R4-7)		11,900千円		②期間外計画額(R8-)		-		①+②総計画額		11,900千円	

(令和7年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	1,400千円
次年度への繰越額	0千円

④ 指 標 (C)	指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	補助金交付件数	年間の補助金交付件数	活動	件	計画値	7	7	8	8
					実績値	5	5	4	4
	作付け面積	本事業を通じて作付けされた面積	成果	a	計画値	1200	1220	1240	1240
					実績値	407	485	483	449
	市フェイスブック等を利用したPR回数	市内外へ農地保全、田園景観の取り組みを情報発信した回数	活動	回	計画値	2	2	2	2
					実績値	2	2	2	2

⑤ 成 果 (C)	判定	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)
	B	本年度の作付面積は、新規取組希望者がなかったことから取組面積が減少し指標値を達成できなかったものの、補助金の活用により景観作物の作付けが行われ、農地保全や農村景観の維持、耕作放棄地の発生防止に寄与した。また、関駅南側では、開花期には見物客が訪れ、地域のにぎわい創出にもつながった。
まずまず成果を得た		

事業の対象	事業の目的
農業者・集落営農組織	景観作物を一団の面積を有する農地への作付けを支援することで、農地を保全し、持続的な田園環境の維持を促進するとともに、転作の推進、耕作放棄地の未然防止、農村景観の維持等を図る。

(再掲)

⑥ 課 題 (C)	事業の達成状況等を踏まえた課題事項
	作付面積については、新規取組希望者が現れず取組面積が減少している。現在の取組者の高齢化や新たに取り組むを行える担い手不足により、農地の保全、農村景観の維持や耕作放棄地の発生防止への取り組みが困難になりつつある現状である。また、令和5年度事務事業点検やR7年度定期監査において事業見直しの意見を受けていることから、事業内容の見直しを行った。

⑦ 事 業 の 展 開 (A)	方向性	
	標準事業に移行	今後の事業内容や規模等を踏まえ、標準事業に移行する。
	改善・見直し内容	
	令和8年度で対応する(した)もの	令和9年度以降で対応するもの
	令和8年度以降は景観保全作物の種子配付を実施する。農地への播種作業による耕起や草刈りなど適切な管理を実施することにより農地の保全を促進する。本事業での継続栽培や面積要件を緩和することによる取組者の増加が期待される。	景観保全作物の種子配付を実施することにより、農地を保全し、持続的な田園環境の維持を促進するとともに、耕作放棄地の発生防止、農村景観の維持等を図る。

【履歴】

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果判定	B	B	B	B
事業展開	継続(現状維持)	継続(現状維持)	他事業との統合	標準事業に移行

1次評価者	産業環境部 農林振興課 農林政策GL 林 晃子
最終評価者	産業環境部 農林振興課長 鳥喰 さとみ